

スマイル タウン

2022
5・6
月

第319号

ひの社会教育センター は、市民のみなさまの
“やりたい”を実現し、「豊かなくらし」を応援する
施設として、1969年に日野市と勤社会教育協会が
協定書に基づいて設立しました。
今月もセンターで生きがいがづくりをされる沢山の
市民の方々の活動をお伝えします。

子ども習字(金)/剣道



「静と動」 2つの教室

- シリーズ 「SDGsを自分ゴトにしてみた!」⑦
- 2022年度 “まなび” ご案内
- 表紙の講師は…子ども習字(金)/剣道 佐藤美穂先生(習字クラスでは佐藤白瑛先生)
- センターからのご案内 賛助会・寄付お礼

SDGs を自分ゴトにしてみた！

2030 年に向けた国際コンセンサス「SDGs」。センターのある日野市も SDGs 未来都市に指定され、様々な所で 17 個の目標ロゴマークを目にするようになってきました。SDGs の目標はどれもシンプルでとても大切そう。しかし、この目標を達成するには自分たちに何ができるのでしょうか。

今年度はひの社会教育センターの職員がそれぞれ関心のあるテーマを取り上げ、「自分ゴト」としてとらえ、その分野の実践家や専門家と対談しながら SDGs の取り扱い方について考えていきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



シリーズ

「SDGs を自分ゴトにしてみた！」⑦

8 「働きがいも経済成長も」

11 「住み続けられるまちづくりを」

今回のテーマはまさに「働きがい」のエンジェリスト（伝道師）である、西川義信さん（コニカミノルタに勤務）に、職員・山本江里子がお話を伺いました。

西川さんは、ひの社会教育センターが 2021 年度末に日野市からの委託事業で開催した「寄合処ひの・焚き火スペース」の企画・運営に関わってくださり、地域での居場所についても様々な取り組みをされています。そして、働きがいをもった人たちが地域で活動を広げていくと、目標 11 「住み続けられるまちづくりを」へもつながっていく、というお話に発展していきました。

働き方と働く場所

山本…西川さんはコニカミノルタでは、どんなお仕事をしているのですか。

西川…情報機器開発本部（※開発推進センターに所属し、主に「働き方改革」のことを担当しています。対企業に、働き方を変革するためのコンサルティングをしたり、働き方の現状を診断するツールをつくり提案しています。また「働き方」の未来を見て、バーチャルなコミュニケーション方法の価値を検証しています。今、働く場所はオフィスの中だけではなく、コロナにより在宅ワークが増えている一方、サラリーマン世代は地域に出るはこないという現状です。地域の中で働く場所が増え

ば、街へ出てくる、地域課題に触れる担い手が出てくるし、その中で偶然の出会いによって、新たな自分の生きがいに出会う、という相乗効果が生まれないか。そんな未来のことを考え企画しています。今回、日野市から企画の相談があったのもそのようなつながりからです。

山本…一企業の部署として、対企業や行政、社会に対しての発信をされていて、働く人のために何ができるかということですね。

西川…コニカミノルタの「いいじかん設計活用ソリューション」は、無駄な「作業じかん」を減らし、誰かと出会うたり物事を生み出す「創造じかん」と、自己研鑽や子育て介護などにつかう「じぶん時間」を増やして、生産性向上と働いている人の満足度を上げようという取り組みです。そこから発展して、「成長にはいつでもどこでも誰とでも働けると成熟度がある」ということがわかってきました。成熟度が上がっていくと、個人の生産性はそんなに変わらなくてもチームの生産性があることがわかったので、コンサルティングの中で、経営側のビジョンと従業員の理想とする働き方をどうつなげていくかをプランニングします。

こうした提案はこれまで、オフィスの中の話で、自分の仕事のモードに応じて場所と時間を選ぶ、「エンタープライズベースドワーキング」を提案し、そして今は地域の中に人がいるので、地域の中で選べる「地域 ABW」を提案していきたいと考えています。



西川さんの提案する「ABW」は、仕事のモードに応じて働く場所と時間を選ぶというもの。これからは「地域 ABW」を街のあちこちに。

山本…西川さんが「地域 ABW」の発想を得ているのは、コロナまん延より以前のようですが、社会の「働き方改革」への意識が高まっている今、これまでより逆に追い風になっていますか？

西川…コロナ前に「時空を超えた働き方改革」というテーマで企画を出しました。きっかけは、出社しなきゃ認めてもらえない企業がたくさんあること、出社は目的じやなく手段のはずが、介護離職や、女性の出産時の退職が潜在化していることが日本の課題だと思っています。本当は行かなくても働ける仕事はたくさんあるのではないかと考え、オンラインやバーチャルを活用したコミュニケーションや働き方を提案したものでした。

山本…時代を読んでいた感じがありますね。今後、日野市内でつながって広がっていききたいことはありますか？

西川…日野市は歴史があり自然豊か、かつ北と南の文化が違ったりして面白い。場所の



↑取材は焚火を囲んで。
右：西川義信さん（コニカミノルタ勤務）
左：インタビュー ひの社会教育センター職員・山本

業種の人たちとたくさん出会い、学びを通じて、人と地域を繋げる、というコンセプトで、自分たちの持っているパワーを出して事業を作る経験をし、めちゃくちゃ楽しかったんです。そのときの経験が今につながっている部分はあります。

地域での居場所づくり

山本…今、お住まいの地域で街に関わっていることはありますか？

西川…国立市に住んでいます。シエア工房の運営をしています。場所を作りこみ過ぎず、わざと余白を残し、置きたいものを置けるようにしています。会員制にしてあまりお客さん扱いせずに、愛着を持ってもらいたいという思いからです。

クリエイター同士が出会いコラボレーションしていたり、異業種の人が出会って、何か生まれていく可能性もあるな、と思います。僕の目的は「変わっていく人を応援すること」で、生き方が変わった人をたくさん見てきています。

山本…センターでも「おひさま手づくり市」といって、手づくり作家さんたちが集まり、販売できるイベントを企画運営していて、出店後にプロになった方もたくさんいらっしやいます。これからも生み出すお手伝いを続けたいですし、センターのことをどんどん利用してもらいたいと思います。

西川…そういう場所は、今は女性が多い傾向ですね。普通の会社員でそういう場所に来る人はあまりいないですが、ものづくり以外のワークスペースや、働く場所のバリエーションとして街に出るといいな、と妄想を広げています。

常に時代の先を見る

山本…世の中の変化がすごいですよね。先を見て、準備をしている方たちがいることに改めて気付かされます。

西川…今あるこの先、何があるといいかな？という発想が必要だと思います。働き方改革、という文脈で企業の人と話すとき、その先にあるものについての自分の中で生まれてくる感じます。経験が人それぞれ違うから、いろんなところからヒントを集め、いろんな人と話するのが楽しいです。

山本…西川さんの中で、仕事に対する興味とプライベートの興味は違いますか？

西川…だいたい一緒です。元々エンジニアだった僕の評価と、地域コミュニティなどをつくる、というバラバラだったものがコニカミノルタで、ようやく両方が評価され、交わった感覚です。

山本…地域には「ただ住んでいるだけ」と感じている人に、地域とつながってもらうためにはどうすればよいでしょうか？

西川…興味に触れないと、地域とのコミット感を得られないと思います。自分の場合

もシエア工房をつくって、初めて国立市に居場所ができたと感じました。



夜・火を囲んでのワークスペース

それまでは「消費者」で、場所を作ったことによって、「街をつくっている一人」になった、と。「生み出す人」になった感覚です。愛着がわくし、だいたい生きていける気がします。地域でなんとか生活できるかな、という妙な安心感があります(笑)

今後の展望は、「誰もが生きがいのある社会を“公私混合”で作る」というテーマです。生きがいとは、「好きで、得意で、需要があつて、お金になる」、この4つが交わったところにあります。ひとつの生業、会社だけではお金は得ても生きがいは得られないかも知れません。しかし、地域の中で、仕事以外の自分がやりがいのあるものや、興味があつたり、わくわくするような、そんな会社の枠を飛び越えたところでプロジェクトに関わる。そうすれば地域の中でみんな生きがいを持てるんじゃないかな、っていうのが仮説です。地域内ABWがあつて、最初はあまり理解できなくとも、働きに行つて、面白い場所に愛着を持つて、お金にならないけど、何か地域課題のプロジェクトに関わり、生きがいをその人が見出してくれるといいな、と思います。

そして、地域の働き方は価値効果がすぐに表れず、たくさんの方をもらえるわけじゃないけど、困ったときに助けてくれたり、何か起こしたいときに仲間がいて、一人じゃできないことができる、その中にやりがいや生きがいが生まれる、そこに価値を見出していききたいです。

山本…センターは教育という媒体で、人と地域をつなげているところなので、そういう生き方に近づけるための教育を見直す分岐点なのだと感じます。今回はありがとうございました。

北欧・デンマークから学ぶお話し会

オンライン講座



スピーカー：ピーダーセン海老原さやか（デンマーク在住・公立特別支援学校勤務）



2021年5月からスタートし、3か月ごとに開催しているお話し会。

デンマーク在住の日本人で、現役教員・働くママのピーダーセン海老原さやかさんが、オンラインでお届けする生の声。たくさんの方にご参加いただき、2年目に突入します。

2年目からは会の名前を「北欧・デンマークから学ぶお話し会」とリニューアル。

幸福度が高い国と言われるデンマークの日常から、「自立する心の育て方を学ぶ」、参加者同士の対話を取り入れた参加型お話し会です。さらにパワーアップしたさやかさんと、ゲスト対談者の方、参加者の皆さんとの対話を重ね進めていきます。

学びつづけ、伝えつづける。これは生涯学習・社会教育のテーマでもあります。2022年も一緒に学びましょう！

申し込み受付中!!

日時：5月22日(日) 15:00~16:30

第5回~ずっと学び続ける 学び直せる~デンマークの大人の学び

参加費 2,200円（早割り 1,650円 先着20名限り 申込は2日前まで）

学生さんは参加費500円（窓口扱いのみ） ご参加お待ちしております!!

デンマーク王国大使館後援



* 今後の講座予定 *

6回目 2022年 8月28日(日)

テーマ「デンマーク×高齢者」

参加費 2,200円（早割り 1,650円 先着20名限り）

自然保育ゼミナール 開講

私たちは50年前から野外教育を始め、その流れの中で2009年より『森のようちえん』事業をスタートさせました。

このゼミナールにはこれまでの活動の中で見えてきた大切なことや、私たちがもっと学びたいこと、学びを深めたいことをギュッと凝縮しました。みなさんもぜひ一緒に学びませんか？

▽こんな方におすすめのゼミナールです▽

- ☐ “自然保育”というキーワードが気になった方
- ☐ 保育園・幼稚園等、保育の現場で自然の中での活動を取り入れたいと感じている方
- ☐ 自分の子どもに自然活動を取り入れたい方
- ☐ いろんな人と保育観を深めたい方
- ☐ 将来保育士や幼稚園教諭を目指す方

学べるテーマ

- * 安全
- * 自然との持続可能な関わり方

日程

2022年度を通じ、全9回

各テーマに沿った講座を企画しています。

オンライン講座

・6/28(火)「知らなかったじゃすまされない危険植物の世界」

講師：西海 太介 氏

・7/8(金)「気象や地形、災害リスクから考える自然保育の防災計画」

講師：渡辺 直史 氏

など

その他講座の詳細・お申し込みは、ひの社会教育センターHP

または で検索を。



賛助会へのご協力ありがとうございます ★順不同・敬称略

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ①個人会員 1口 1,000円 | ②団体会員 1口 5,000円 |
| 上倉荘 5口 檜佐やい 3口 | モッキングバード 1口 |

表紙の講師を紹介します！

子ども習字(金)/剣道 掛け持ち！

佐藤 美穂(白瑛)先生

【子ども習字(金)クラス】

小中学生が在籍するこのクラスでは、年に2回の昇級・昇段審査があり、目標をもって練習することに加え、高円宮杯などの公募展への出展や、地域の信用金庫ロビーにも毎月展示をしてもらっています。「見てもらう」場をたくさん作り、やる気につなげたいと話す白瑛先生。

大きな用紙にだるま筆を使い、腕の動きをしっかりと練習をすると、半紙に戻ったときにも同じように堂々とした字を書けるようになるので、バリエーション豊かにいろいろなサイズの紙を使っています。先生の指導は朱でありまなのおさなスタイル。「声を掛ければ、みんなわかるから。」という理由です。みんなのびのびとつつも、集中して書いている姿が印象的でした。



「名前も作品の一部」
しっかり指導します！

【剣道クラス】

小学生から大人までが在籍する剣道クラス。佐藤先生は15年以上前、ご自身のお子さんが通っていたときに、練習のお手伝いを始めたことがきっかけ

先生の話を聞く後ろ姿が、凛々しいです！

で、その後講師となりました。先生ご自身も高校生時代以来の防具を着けたそうですが、今ではセンターをホームと思って、子どもたちと一緒に頑張ってくれています。子どもたちの練習の様子は、「まとめ会」で保護者の皆さまにも見ていただき、励みにしています。



“難民”を知る、考える。

緊急企画 ひの社会教育センター市民講座

日時：2022年6月19日(日) 午後1時~3時30分
会場：TreeHALL

(日野市多摩平 3-1-1 TomorrowPLAZA 2F)

参加費：1,000円

(講師料・保険料として。小学生以下参加者は無料)

対象：小学生5年生以上

講師：穂積 武寛 氏

難民支援の専門家である講師を迎え、子どもからおとなまで同じテーマで学び、考えあう学習会です。

※お申込みはひの社会教育センターへ 042-582-3136